



広重の名作「夜の雪で急高き蒲原は  
 絵とはうらはらに海路の日だに均かれた  
 温暖な地。広重がなせ雪景色を描りた  
 のれは、まだにナゲである。  
 去いたるすまいる残したる宿場には、義経と  
 津瓊姫の伝説もある。

東海道五十三次  
 東海道第十五宿  
 蒲原かんばり



名物  
 栗粉餅 鮎  
 産見餅

蒲原宿入口長町新町野



広重の安産池とされる場所には「夜の雪蒲  
 原宿」と刻んだ大きな記念碑が立っている。  
 だからこから見る風景が広重の絵とあまり  
 似ていない。東海道を歩く人にとくは、広重  
 の絵の場所を訪れることも楽しみの一つであ  
 り、からその意味ではすきりしない。  
 といふに昔の面影がまだ残った宿場である。  
 都立や格子などなまの壁などある古い家が  
 残さきりに、本陣木戸、一家家などの二つに  
 ていねいな説明が設けられている。  
 宿のお入り口はカキ型に曲がった柵形道路である。